

漁況海況予報事業*

阪本 俊雄・竹内 淳一・吉村晃一

武田 保幸・渡辺勇二郎

調査船「わかやま」浜口英雄他六名

目 的

本県沿岸および同沖合の海況と本県沿岸漁業の漁況をモニタリングして、海況と漁況に関する調査研究を行う。同時にこれらの情報を漁業関係者に提供して漁業経営の合理化に資する。

方 法

平成元年度漁況海況予報事業実施方針（水産庁）による。

結 果

本年度の海況と漁況はすべて「和歌山県漁海況情報第59報～70報」に速報した。それらの概要を摘記すると以下のとおりである。

1. 海況の概要

潮岬沖合の黒潮中心部は1988年9月から同岬南約20湊以内に接岸していて、本年3～6月は約15湊以内、7～9月は約10湊と異常接岸した。一方、4月に種子島沖合で蛇行を強めた黒潮は6月には日向灘沖の離岸、9月後半には紀伊水道沖合の離岸となった。そして蛇行が完全に熊野灘に移ったのは11月の後半で以後1月前半まで熊野灘、遠州灘沖のS字型蛇行をとり、1月後半から遠州灘沖合の冷水塊を伴う大蛇行に安定した。潮岬沖合の蛇行前後の黒潮流路変化を図1に、潮岬ならびに紀伊水道合ノ瀬南沖合の黒潮中心部までの距離を表1、表2にそれぞれ示す。

水温は黒潮接岸期間、離岸期間とともに紀伊水道側では高めで且つ低塩、熊野灘側では離岸期間が高めで経過、流況は紀伊水道側では9月下旬の水道沖離岸とともに振り分け潮がなくなり、蛇行が熊野灘に移った11月後半以降は潮岬で上り潮（西向流）、また熊野灘ではS字型蛇行中は強い上り潮（南西流）が発達。

2. 漁況の概要

内海マダイ 加太は11月まで不振、黒潮離岸安定の12月以降好転。

内海マダコ '86年を最高に年々減少しており、本年は'86年の約45%に落ち込む。しかし12月以降マダイと同じように好転。変動要因不明。

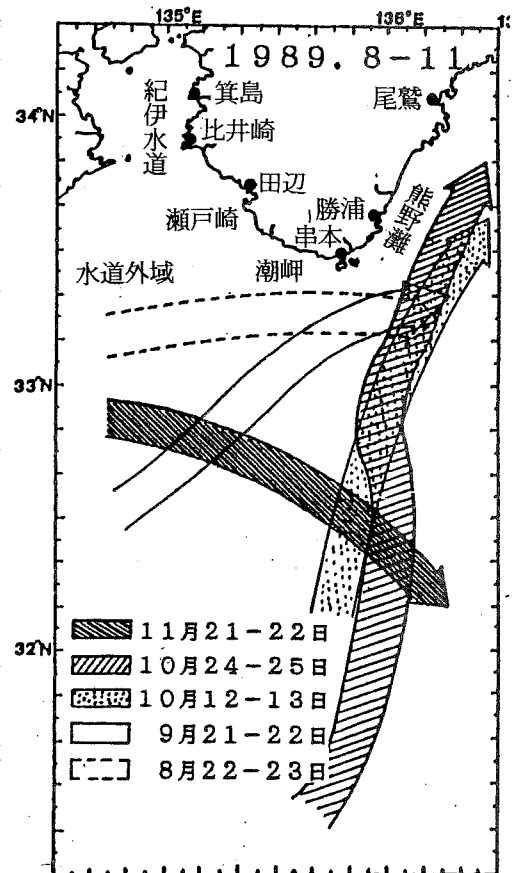


図1「わかやま」観測による黒潮の流路変化

※漁況海況予報事業費による。

表1 潮岬南沖合の黒潮中心部の離岸距離（湊）

年 月	1989									1990		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前半	10	15	10	10	10	10	60(80)	70	30	30	50	70
後半	15(15)	15(15)	15(10)	10(10)	10(10)	10(10)	120(90)	55(110)	35(20)	60(50)	70(60)	35(70)

* 後半全月と前半10月の値は「わかやま」の観測による。前半及び（ ）は水路部海洋速報

表2 紀伊水道合ノ瀬から黒潮中心部までの距離（湊）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
距離	40	45	40	40	40	75	—	60	—	55	90	60

* 「わかやま」の観測による

サワラ 外域は黒潮異常接岸で全くの不漁、4, 5月の内海入り込み漁況も暖水貫入強く不振。

タチウオ '88年秋期の黒潮接岸で小タチウオの増加があり、これが'89年夏期中タチウオとして漁獲の増加に現る。しかし紀伊水道沖合での9月下旬の黒潮離岸とともにそれまでの漁獲水準の約半分に激減、黒潮接岸の持続はなく春仔群資源復活は未だ困難とみられる。

シラス 黒潮接岸で春期マシラス好漁、しかしこれは接岸が強すぎて5月上旬の暖水波及で終漁、秋シラス漁は黒潮離岸で全く成り立たず。

内海マルアジ・マアジ 主に漁獲対象となるのはマルアジは2+歳、マサバは1+歳。いずれも'87、'88年の黒潮離岸年の資源に負うから資源水準は低く漁況は低調、マサバは黒潮の紀伊水道沖合離岸と共に一時激減。

外域アジ・サバ・イワシ類 上記のようにマルアジ・マサバの資源水準は高くない。しかしマサバは黒潮接岸によって発育が促されたとみられる300g以下の当歳群が8月以降大量加入し、本種の漁獲量としては近年では高い方。マアジは2~3歳魚主体。発生量の多かった'86、'87年群資源で、黒潮離岸の操業条件の好転によって漁獲が増加。マイワシは夏期秋期の小羽漁獲が非常に少なく、また、'90年冬春期の大羽漁獲も熊野灘高水温のために激減。ウルメ大羽は南部1そうまきで黒潮接岸期間中は好漁。離岸後は激減。

棒受ウルメ 黒潮異常接岸、低塩、黒潮大離岸と紀伊水道域は不適海況が重なり全くの不振。

カツオ 黒潮接岸で1,2月からぼちぼちみられ、本格的来遊の3,4月は'86年と同程度の好漁。5月は昇温が早く21℃の曳縄カツオ不適海況となる。始漁早く終漁早期型。夏期の新仔カツオ来遊なし。秋カツオの漁場形成は熊野灘のみ。紀伊水道側は黒潮離岸で全くなし。

スルメイカ 黒潮異常接岸により中層顕著湧昇発達せず。陸棚域高温化で不漁。黒潮離岸後水温躍層の中下層移行によって漁一時持ち直す。

サンマ 11月18日が初漁で2月で終漁した。黒潮蛇行がA, C型年は不漁で本年はA型で総漁獲量は178.3tと不漁。好漁年はN型かB型年である。

ソーダガツオ 黒潮蛇行によって熊野灘へ黒潮が接岸した時のみに勝浦棒受網漁あり。

ブリ 遠州灘冷水塊黒潮反流の暖水接近で本年は約6000本。近年としてはまずまず。

メジロ 12月に江須崎沖に来遊、釣り好漁。上り潮。

その他 串本トビウオ好漁。熊野灘トラフグ好漁。熊野灘ゴンドウクジラ不漁。